トラクター・ショベル（ホイール式）

3年間保存

定期自主検査記録表（月次）

様式SR−GL−11−C

メーカー名	管理No.	使用者住所 氏名又は名称
型式	稼働時間 h	
製造番号	走行距離 km	検査業者又は事業者 住所氏名又は名称
検査年月日 年 月 日	検査者氏名	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良	検査結果 不良	補修内容
エンジン	1	本体	かかり具合、異音、回転の状態、排気の状態	目視 操作 聴診			
	2	エアクリーナー	エレメントの汚れ	目視			
	3	潤滑装置	油量・汚れ、油漏れ	目視			
	4	燃料装置	燃料漏れ	目視			
	5	冷却装置	水量、水漏れ、ホースの損傷、ファンベルトの緩み・損傷	目視 触診			
	6	バッテリー	液量、端子の緩み	目視 レンチ等			
	7	コンプレッサー	作動、タンクの凝水	目視 操作			
	8						
動力伝達装置	9	トルクコンバーター、トランスミッション、ディファレンシャル、ファイナル、HST	作動、異音、油量(トルコン)、油漏れ	目視 操作 聴診			
	10						
走行装置	11	ホイール（タイヤ）	空気圧、亀裂、摩耗、ボルト・ナットの緩み、ベアリングのがた・異音	目視 タイヤゲージ レンチ等 触診 聴診			
	12						
操縦装置	13	ハンドル	操作具合、遊び、がた	目視 操作			
	14	パワーステアリング	油量、油漏れ	目視			
	15						
制動装置	16	走行ブレーキ	ペダルの遊び・床板との隙間、効き具合	目視 操作			
	17	オイルブレーキ（含配管）	作動、油量、油漏れ	操作 目視			
	18	駐車ブレーキ	効き具合、引きしろ	目視 操作			
	19						

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良	検査結果 不良	補修内容
作業装置	20	バケット アーム、リンク	亀裂、変形、がた	目視 操作			
	21	バケットコントロール	作動（キックアウト、ポジショナー）	目視 操作			
	22						
油圧装置	23	作動油タンク	油量・汚れ、油漏れ	目視			
	24	油圧配管（含ホース）	損傷、油漏れ、取付け状態	目視 触診			
	25	各油圧機器（ポンプ、弁等）	油漏れ、異音	目視 操作 聴診			
	26	油圧シリンダー	作動、油漏れ、ピンの摩耗、ボルトの緩み、ロッドの傷	目視 操作 ﾊﾝﾏｰ			
	27						
操作装置	28	操作レバー	ストローク、がた	目視 操作			
	29						
安全装置・車体関係等	30	ヘッドガード	亀裂、破損	目視			
	31	キャブ（含キャノピ）	亀裂、変形、破損（含ガラス）	目視			
	32	各ロック、安全ピン等	機能、損傷	目視 操作			
	33	灯火類、方向指示器、計器類	作動、破損、水浸入	目視 操作			
	34	警音器、後写鏡、反射鏡、カメラ	音量、損傷、写影	聴診 目視			
	35	各ボルト、ナット、ピン類	脱落、緩み	目視 ﾊﾝﾏｰ			
	36	給油脂	各部の給油脂状態	目視			
	37						
総合	38	総合テスト（走行、作業）	機能、異音、異常振動、異常発熱	目視 操作 聴診 触診			

事業者への要請等	

補修等の措置内容

照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容

備考

1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。
2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。
3. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。
4. No.の網掛けは建荷協推奨検査項目、その他は安衛則第168条に基づく検査項目を示す。

記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし
	×	⊗	△	A	T	C	L	−

© 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会